

# 和歌山県立医科大学附属病院 呼吸器内科・腫瘍内科

## 当科の特徴

当科には内科学会、呼吸器学会、臨床腫瘍学会、呼吸器内視鏡学会、アレルギー学会の専門医・指導医が在籍しており、指導体制が整っています。呼吸器疾患全般にわたる最新の診断や治療を行うとともに、これら呼吸器領域の専門医育成や基礎研究・臨床研究に力を注いでいます。また肺癌の治験や研究にも積極的に関わっており、地域診療への貢献と世界に向けたメッセージの発信を行っています。

卒後 1,2 年目の臨床研修(初期研修)修了後、3 年目から 5 年目までは原則、新専門医制度に準拠した「和歌山県立医科大学内科専門医研修プログラム」に従って研修を行います。

地域中核病院での研修に関しては、公立那賀病院、海南医療センター、国

立病院機構和歌山病院、国立病院機構南和歌山医療センターを中心に専門的な臨床研修を予定しています。

基本領域の専門医取得後は呼吸器専門医、がん薬物療法専門医、気管支鏡専門医、アレルギー学会専門医を目指して研修を続けていきます。

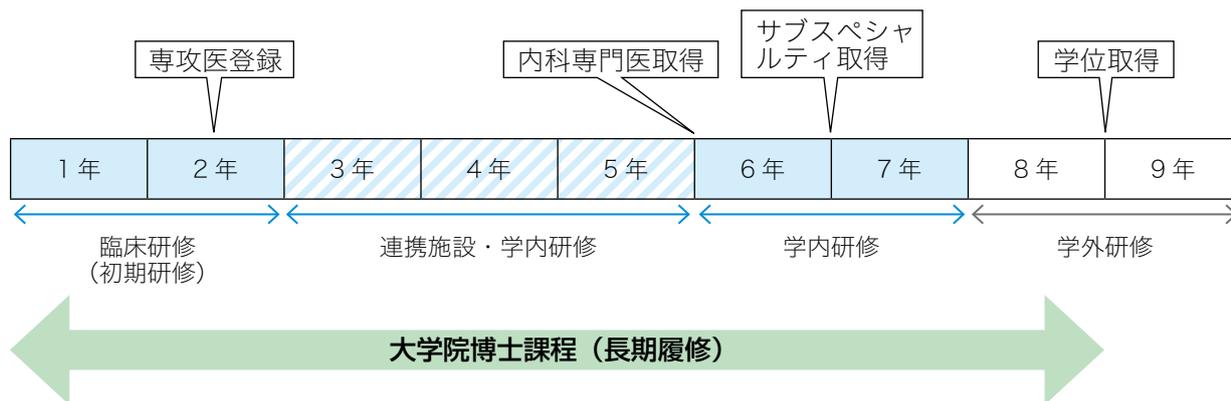
なお、学位取得希望者は大学院に入学して、基本的には 9 年の義務年限中に学位取得が可能です。



## ローテーション例

## 一般枠コース

※ □ は学内研修



一般枠医師については原則プログラムのローテーションに従って研修を行います。

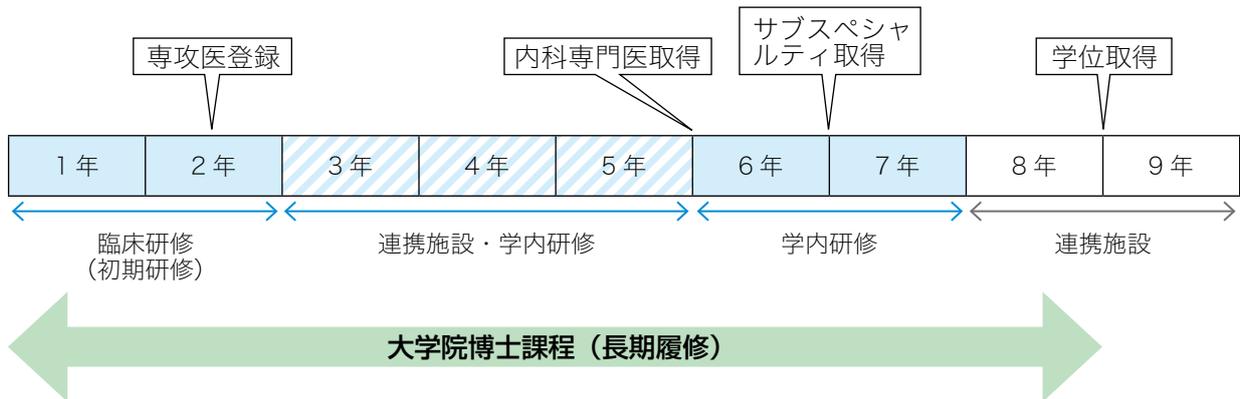
詳細は卒後臨床研修センター HP (<http://www.wakayama-med.ac.jp/med/sotugo/koki/koki-program.html>) に載っています

内科専門医取得後は希望するサブスペシャリティに応じて大学や公立那賀病院、海南医療センター、国立病院機構和歌山病院、国立病院機構南和歌山医療センターで研修を行います。卒後 6 年目にサブスペシャリティ専門医を取得可能です。

## ローテーション例

## 県民医療枠コース

※ □ は学内研修

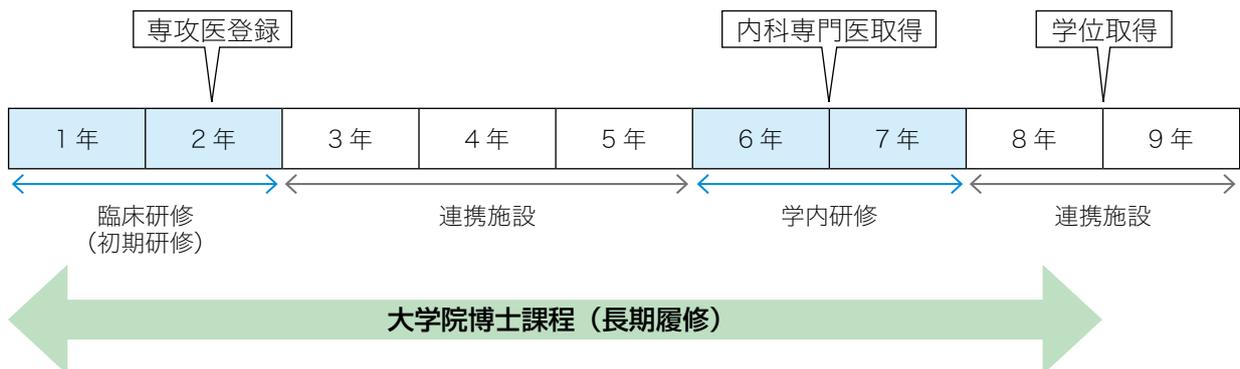


県民医療枠コースでは3～5年目は地域中核病院と和歌山県立医科大学附属病院での研修を行います。内科専門医取得後は大学に戻って研究や高度な医療に携わりながら、サブスペシャリティ専門医の取得を目指します。8年目、9年目には地域中核病院で後輩の指導を行いながら、週1回は大学で研究を行う時間があり、大学での継続的な臨床研修あるいは基礎および臨床研究を継続することが可能です。

## ローテーション例

## 地域医療枠コース

※ □ は学内研修



地域医療枠コースでは臨床研修（初期研修）の後、3年から5年目まではへき地医療拠点病院等で研修を行います。6、7年目には大学に戻ることによって高度な医療にも触れる機会があり、8、9年目にはへき地医療拠点病院等で後輩の指導にあたりながら、スキルを磨いていきます。

なお、内科専門医は6年目に取得予定となっています。

## 研修目標

まずは一般内科医として必要な知識・技能を習得し、内科専門医を取得することが目標となります。さらに呼吸器内科医、腫瘍内科医として悪性腫瘍や呼吸器感染症、炎症性肺疾患など、広範な疾患の鑑別診断と検査・治療を行える能力を身につけ、各サブスペシャリティ（呼吸器専門医、がん薬物療法専門医、気管支鏡専門医、アレルギー学会専門医）を取得することが次期目標となります。

## 教授からのメッセージ



### 山本 信之 教授

当科は呼吸器内科を診療・研究の中心に据えています。

日本人の死因のトップはがんであり、その中でも肺がんの死亡率が最も高いことはよく知られております。

また、トップ10の中には、肺炎（誤嚥性を含む）が含まれています。すなわち、これからのわが国の医療を考える上

## 経験目標

- ・胸部X線写真、胸部CTの系統だった読影ができ、鑑別診断を挙げ、必要な検査を行うことができる。
- ・肺機能検査や動脈血ガス分析の結果を解釈できる。
- ・胸腔穿刺や胸腔ドレナージ、気管支鏡検査、胸腔鏡検査などの基本的な手技を習得する。
- ・正しく酸素投与ができ、人工呼吸器管理の適応を判断し、設定ができる。
- ・がんに対する標準治療を行い、副作用に対応できる。
- ・抗生剤を適切に使用できる。
- ・緩和医療を行える。

で、呼吸器疾患とがんは非常に重要な疾病であるわけです。

当科では、呼吸器内科としては、呼吸器専門医などの各種呼吸器関連の専門医を取得することが可能ですし、腫瘍内科としても、当院の腫瘍センターと協力しがん薬物療法専門医取得のためのコースを設置しております。また、研究面においても、COPDの酸化窒素の研究、次世代シーケンサーなどを用いた血中癌細胞や癌DNAの解析で、多くの業績を上げてきております。

当科に来ていただければ、どの方向に進むにしても、多くの選択肢から選んでいただくことが可能です。ぜひ、我々と一緒に、楽しい仕事をしましょう。



## 当科で取得可能な専門医と指導体制

研修施設	内科専門医	呼吸器専門医	気管支鏡専門医	がん薬物療法専門医
和歌山県立医科大学附属病院	5	4	2	4
公立那賀病院	1	1	2	2
海南医療センター	3	1	0	0
国立病院機構和歌山病院	1	2	1	0

- 大学ならではの稀な疾患から、肺がん、肺炎、気管支喘息、COPDなど幅広い呼吸器疾患を診療することができます。また心疾患、アレルギー、膠原病などとオーバーラップしていることが多く、ジェネラリストとしても多くの知識を身につけることができます。
- 指導スタッフには各分野のサブスペシャリティを持つ専門医がおり、特に肺がんに関してはガイドライン作成に携わるスタッフが在籍しています。また消化器や乳腺腫瘍の専門医も在籍しています。
- 気管支内視鏡検査ではBFナビゲーションシステムや、EBUS-GS、EBUS-TBNAといった最新技術を用いた診断など、高度な医療手技を身につけることができます。
- 緩和医療に関する理解と知識、患者・医療チーム間のパートナーシップなど内科医としての総合力や、全人的医療を学べます。
- 国内外への留学も可能です。

